



第57回全国大学ラグビーフットボール選手権大会

CHAMPIONS



チームスローガンに掲げた「一手一つ」をプレーで体現し、初めて大学ラグビー界の頂点に立った（1月11日、東京都新宿区の国立競技場で。写真＝吉田孝光、提供＝天理大ラグビー部）



小松節夫監督に駆け寄り抱き着く松岡大和主将（写真・提供＝同）



副将のシオサイア・フィフィタ選手。今大会、攻守にわたり大活躍した

「恩返し」合言葉に悲願の初優勝

天理大ラグビー部 第57回大学選手権大会

天理大学ラグビー部は、第57回「全国大学ラグビーフットボール選手権大会」の決勝に臨み、創部96年目にして悲願の初優勝を果たした。昨夏、部内で新型コロナウイルスの集団感染が発生し、活動休止を余儀なくされたが、多くの市民らの支援や応援を受け再始動。「日本一で恩返し」を合言葉に関西リーグ5連覇を果たし、選手権では関東の強豪勢を退け決勝へ。1月11日、国立競技場での大一番では、前大会王者の早稲田大学に55 - 28と決勝史上最多得点で完勝。関西勢として36大会ぶりに頂点に立った。

